

2015年度決算および 2016年度業績見通しのご説明

業績

2015年度の三菱商事グループの当期純利益(純損失)は、▲1,494億円の純損失となりました。非資源分野では、前年度に計上した減損損失振戻し益の反動などにより減益となり、また、資源分野では、市況の下落による持分利益の減少に加え、資源関連資産において減損損失等を計上したことなどにより、全体として減益となったものです。

2016年度も資源分野で引き続き厳しい事業環境が続きますが、非資源分野での安定的な利益を見込み、通期業績見通し2,500億円の達成を目指します。なお、資源分野への取り組みについては、向こう3カ年は投融資残高を一定に保ちつつ、資産の入替えによる質の向上を図ります。

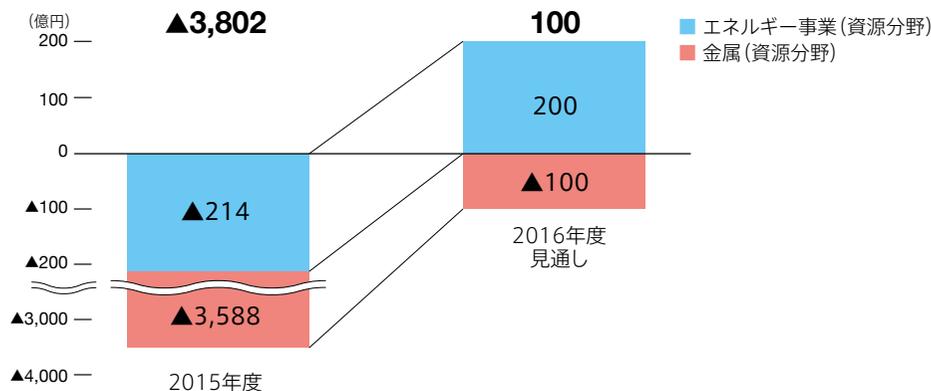
配当

2015年度の配当につきましては、2013年度からの3年間は事業環境の変化にかかわらず一定の配当を行うこととしており、1株当たり年間50円(中間配当25円を含む)とさせていただきます。

2016年度以降の配当につきましては、5月10日公表の『中期経営戦略2018』において、2016年度からの3カ年、株主還元は配当を基本とし、持続的な利益成長に合わせて増配していく累進配当を基本方針としており(詳細はP17をご参照ください)、2016年度の1株当たり年間配当は60円を予定しています。

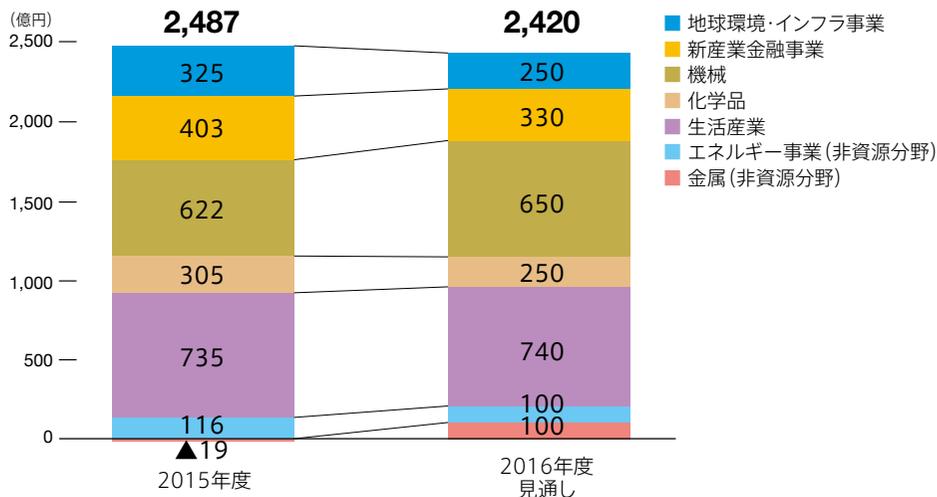
資源・非資源分野別内訳 (2015年度業績/2016年度見通し)

資源分野



※「資源分野」は「エネルギー事業」のうち、天然ガスおよびE&P、「金属」のうち、金属資源を含めています。

非資源分野



※本グラフには、資源・非資源に分類されない数値(「その他、調整・消去」)は表示していません。

※「地球環境・インフラ事業」には、地球環境・インフラ事業グループのうち、他の営業グループと同様の経営管理を行っているインフラ関連事業のみが含まれています。

業績ハイライト (国際会計基準)

2015年度業績

当期
純損失

▲1,494 億円

配当金

年間配当
50 円

その他の指標・数字

	2014年度		2015年度
ネット有利子負債倍率	0.8倍	»	0.9倍
ネット有利子負債	4兆4,677億円	»	4兆3,155億円
資本	5兆5,705億円	»	4兆5,925億円
ROE	7.5%	»	▲2.9%
営業キャッシュ・フロー	7,983億円	»	7,001億円
投資キャッシュ・フロー	▲1,549億円	»	▲5,039億円
フリーキャッシュ・フロー	6,434億円	»	1,962億円

※1 株主通信における「当期純利益(純損失)」は、「非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する当期純利益(純損失)」を表しています。

また、「資本」は、資本合計のうち、「非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する持分」を表しています。

※2 ネット有利子負債は、金利を付けて返済しなければならない債務(銀行からの借入金や、社債、CP(コマーシャルペーパー)など)である有利子負債の総額から、現金および現金同等物などを除いたもの。ネット有利子負債倍率は、資本との比較により財務の健全性を測る指標。

※3 ROE(Return on Equity): 資本に対する当期純利益(純損失)の割合。資本利益率。

2016年度見通し

当期
純利益

2,500 億円

配当金

年間配当
60 円

